

# けんぽく

第29号[平成28年4月号]

県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします。



平成28年4月28日発行  
「食」と「ふるさと」  
新生運動ニュース

編集・発行 福島県県北農林事務所

## 福島県県北農林事務所 新所長挨拶

～更なる県北地方の農林業の復興・再生を進めるために、  
ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動を展開していきます～

福島県県北農林事務所長 水戸 典明



平成28年4月1日、当農林事務所長として着任しました水戸典明と申します。日頃より県北地方の農林業の推進に格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、県では、東日本大震災及び原子力発電所事故からの復興・再生を進めるため、「ふくしま農林水産業新生プラン」を策定し、新生運動県推進本部を設立しました。県北地方においても、平成25年11月25日に地方推進本部を設立し、各関係団体の皆様より御協力をいただきながら「食の安全・安心運動」、「生産再生運動」、「風評払拭・消費拡大運動」、「情報発信運動」を柱とした取組を進めてまいりました。

震災から5年が経過し、管内の農林業においては、川俣町山木屋地区のトルコギキョウや米の出荷再開、伊達地方のあんぽ柿の生産・出荷拡大、福島市の復興牧場の開設、大玉村の「三ツ森ため池」復旧工事が完了するなど、各地で復興に向けた着実な動きと明るい話題が多くなってまいりました。

本年度は、国が策定した「東日本大震災からの復興の基本方針」で定めた復興期間の後期5年間「復興・創生期間」の1年目に当たり、本県においても本格的な復興のステージに移行する期間と位置付けられています。県北地方においても、皆様と一体となって力強い農林業の復興・再生を進めるため、この「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」を軸として、様々な取組を皆様とともに積極的に実施してまいりたいと考えておりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます、御挨拶といたします。

## ◆天皇・皇后両陛下<sup>ぎょうこうけい</sup>下行幸啓記念碑の除幕式が行われました！

平成28年  
4月17日  
(日)、桑折町の桃の郷  
ポケットパークにおいて、天皇・皇



記念碑除幕式の様子

后両陛下の御訪問を記念して建立された行幸啓記念碑の除幕式が行われました。

除幕式では、桑折町の高橋宣博町長から「献上桃の名に恥じぬよう、桑折町の特産品であるものの魅力を全国に発信したい」と挨拶が



天皇・皇后両陛下下行幸啓記念碑

あり、関係者やもも生産者を始め、国、県などからの来賓を含め約 100 人の出席者が見守るなか記念碑が披露されました。

両陛下は平成 25 年と平成 27 年に桑折町を訪問され、東日本大震災からの復興の様子を視察し、原発事故による風評被害に苦しむもも生産農家を励まされました。このため、二度の行幸啓の慶事を記念し、長く後世に継承するため、桑折町、伊達みらい農業協同組合（現ふくしま未来農業協同組合）、伊達果実農業協同組合、桑折町商工会などの関係機関が建立委員会を設立し準備を進めてきました。

また、除幕式に引き続き、隣接するもも園内に設置された特設会場で「こおり桃源郷BBQフェス 2016」が行われました。午前中のぐずついた天気も午後からは回復し、約 800 人の参加者が焼き肉で舌鼓を打ちました。



こおり桃源郷BBQフェス 2016 の会場

(伊達農業普及所)

### ◆NEXCO東日本高速道路株式会社へ福島県産木製ベンチを贈呈しました！

平成 28 年 3 月 24 日(木)、福島市の東北自動車道下り線の吾妻パーキングエリアにおいて、当農林事務所より施設を管理する N E X C O 東日本高速道路株式会社へ、福島県産スギを使用して製作したベンチ 2 脚を贈呈しました。この事業は、森林環境税を財源に県産材振興の一環として、平成 19 年より県産木材を使用した製品を公共施設等へ贈呈しているものです。



感謝状の受け取る前農林事務所長

ベンチは、福島県立福島工業高等学校 2 年生の齋藤祐希さんがデザイン・図化しました。パーキングエリアを訪れる人が、ベンチに触れ、使うことによって安らぎを感じてもらうことを願って、福島市の代表的な情景の雪うさぎをイメージしたとのことです。

製作は伊達市のディー・シー・ツー有限責任事業組合（伊達クラフトデザインセンター）が担当しました。ウサギをイメージする曲線の強度を確保するため、木工加工技術を駆使し製作していただきました。

贈呈式では、NEXCO東日本高速道路株式会社東北支社の渡邊福島管理事務所長より、デザインした県立福島工業高等学校の齋藤祐希さんと後藤前農林事務所長へ感謝状が授与されました。



贈呈したベンチでの記念撮影  
(左より齋藤さん、前農林事務所長、NEXCO東日本高速道路株式会社東北支社福島管理事務所渡邊所長)

当農林事務所では、今後も県産木材の風評払拭及び利用を推進するため、木製品の公共施設等への贈呈に取り組んでいきます。

(森林林業部)

### ◆「ふくしま地域産業6次化新商品カタログ」(平成 28 年3月版)を発行！

県農産物流通課では、県産農林水産物を活用して商品化された 6 次化商品を掲載した「ふくしま地域産業 6 次化新商品カタログ」(平成 28 年 3 月版)を発行しました。このカタログは、県内外のバイヤー向けに県内事業者が商品化した 6 次化商品を、写真付きでカラーで紹介したものです。管内からは、22 事業者の 57 商品が掲載されています。いずれも事業者の想いと創意工夫が込められた魅力ある商品となっておりますので、ぜひ御覧ください。県の運営するホームページ「ふくしま 6 次化情報 STATION」において、御覧い

ただけます。

※ふくしま6次化情報STATION:

<http://www.6jika.com/>



新商品カタログの表紙及び裏紙

(企画部)



パンフレット「県北地方の農家民宿」(一部)

(企画部)

### ◆泊ってみよう！「県北地方の農家民宿」パンフレットが完成！

当農林事務所では、農村の地域活性化や農村に人を呼び込むことを目指し、グリーン・ツーリズムや農家民宿の開業を支援しています。

このたび、「県北地方の農家民宿パンフレット」の最新版が完成しましたので御紹介いたします。

このパンフレットには、伊達市2軒、二本松市16軒、本宮市10軒の合計28軒の管内の農家民宿の写真や宿泊料、連絡先等が掲載されています。

各農家民宿では、特色ある様々な農業体験や、手作りの地元の野菜を用いた料理、里山のゆったりした雰囲気等を存分に楽しむことができます。農家や地域の皆さんから直接、地域の面白いお話を聞くこともできます。

あたたかいおもてなしと、その魅力を体験に、ぜひ、管内の農家民宿へお越しください！

なお、「県北地方の農家民宿パンフレット」は県北農林事務所のホームページでも御覧いただけます。

※「県北地方の農家民宿パンフレット」URL:

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/160959.pdf>

### ◆安全な農作業を心がけましょう！

4月1日から5月31日は、春の農作業安全運動の推進期間です。春は、農作業の本格化に伴って、農作業中の事故が増加します。昨年は、県内において農作業中の死亡事故が多発し、農作業死亡事故多発警報が発令されました。

農作業中の事故は、機械や農場の状況等の要因がいくつも重なって生じてしまいます。機械の点検整備を定期的に行うほか、機械作業を中断する際はエンジンを切るなど、基本的な注意点を確実に行うことが、事故予防となります。

また、農道が狭くなっていたり、雑草で農道の境目が分かりにくくなっていると、トラクターなどを運転している際に、転倒や転落事故につながる恐れがあります。そういった場所では、雑草を刈り取るなど、農道を広く確保する工夫が必要となります。

さらに、農業者の皆さん自身が焦って作業をしたり、体調が悪い状態で作業をしたり、機械に巻き込まれやすい服装で作業をすることも、事故の原因につながります。作業に慣れると、農作業に危険が潜むことを忘れてしまいがちです。ご自身の作業、機械、農場の環境をこの機会に見直すとともに、地域で、家族で、声を掛け合い、安全な農作業を心がけましょう！

(次項に続く)

# 安全な農作業を心がけましょう!

～4月1日から5月31日は春の農作業安全運動の推進期間です～

春は農作業の本格化とともに、農作業事故が増加します。本県では昨年、**高齢者のトラクター等による死亡事故が多発し、農作業死亡事故多発警報が発令されました。**個人で気をつけるのはもちろんのこと、地域で、家族で、声を掛け合って農作業事故を防ぎましょう。

普段の作業とのちょっとした違いや小さな油断が事故の原因になります!



## ✓ チェックリストで日々の作業を見直しましょう!

- 機械や用具の点検・整備は行っていますか
- 機械作業を中断するときはエンジンを止めていますか
- 作業時間にゆとりはありますか
- 体調の変化に気を配っていますか

小さな気配りで大きな事故を防ぐことができます!

福島県東北農林事務所 農業振興普及部 TEL 024-535-0452

農作業安全運動啓発のチラシ



春の農作業安全運動のマーク

(農業振興普及部)

## ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動県北地方推進本部の構成員活動紹介

### 伊達果実農業協同組合 “ふくしまのおいしい果物”を再認識していただくための取組

当農業協同組合は果物専門農業協同組合として創設され、今年度で68年目を迎えます。当初は「りんごの伊達果実」と言われておりましたが、現在は「もも」と「あんぽ柿」を中心品目として取り扱っております。

平成22年度には、農産物直売所「だてかベジフル」を開設し、今年で6年目を迎えます。昨年度は開店5周年記念イベントを盛大に開催し、多くのお客様にお越しいただきました。

今年度は、ももの出荷時期に合わせて、地元桑折町、商工会、観光協会等とタイアップし、東京都荒川区のリバーパーク町会主催の「汐入まつり」等イベントに出展し、対面販売を主体に協力をさせていただきます。

また、地元の皆様に対しても、直売所を利用し福島県産果物のおいしさを再認識していただくために、各種果物のお届け時期に合わせたイベント開催を予定しております。

福島県農産物については、震災以降風評被害が言われておりますが、消費者の方々に安心安全な品物を届けることはもちろんのこと、より品質の良い物、おいしい物を提供するために、今後とも農家の協力のもと、生産・出荷に当たっていきたく思っております。

#### ※「だてかベジフル」5周年記念イベントの様子



開会宣言



さくらんぼ種飛ばし大会



大ジャンケン大会



多くのお客様が来店

## 県北農林事務所 転入者の紹介(平成 28 年4月定期人事異動)

新所属		氏名	旧所属	
	所長	水戸 典明	農林水産部	次長(森林林業担当)
	次長兼総務部長	鈴木 俊明	企業局工業用水道課	主幹兼副課長
総務部総務課	副部長兼総務課長	吉野 健一	人事総室職員研修課 (公益財団法人ふくしま自治研修センター)	副課長(副参事)
総務部総務課	主任主査	深谷 喜久枝	県北教育事務所総務社会教育課	主任主査
総務部総務課	専門技術管理員	市瀬 健一	農村整備総室農村基盤整備課	主任主査
総務部総務課	専門員	西條 義夫	県北農林事務所企画部	専門員
企画部地域農林企画課	主査(キャップ)	佐藤 由美	県中農林事務所須賀川農業普及所	主査
企画部地域農林企画課	主査	小野 知恵	農村整備総室農村基盤整備課	主査
企画部指導調整課	主事	横山 司	健康衛生総室医療人材対策室	主事
農業振興普及部	副部長	佐藤 周	農村整備総室農村振興課	主任主査
農業振興普及部農業振興課	主査(キャップ)	佐藤 美香	県北農林事務所安達農業普及所	主査
農業振興普及部農業振興課	専門員	佐藤 利雄	ハイテクプラザ福島技術支援センター	主査
農業振興普及部地域農業推進課	課長	遠藤 亮子	農業総合センター農業短期大学校農学部	畜産学科長
農業振興普及部地域農業推進課	主査	山崎 優美子	県中農林事務所田村農業普及所	主査
農業振興普及部地域農業推進課	副主査	高橋 史	県北農林事務所伊達農業普及所	副主査
農業振興普及部経営支援課	主査(キャップ)	大高 圭申	生産流通総室園芸課	主査
農業振興普及部経営支援課	技師	渡邊 善仁	会津農林事務所農業振興普及部	技師
農業振興普及部経営支援課	技師	石川 万里那	新規採用	
農村整備部農村整備課	主任主査	菅野 正義	会津農林事務所 (大沼郡会津美里町駐在)	主任主査
農村整備部農村整備課	主査(キャップ)	矢吹かおり	農業支援総室農業振興課	主査
農村整備部農村整備課	技師	豊田 晃大	新規採用	
農村整備部農村整備課	専門員	佐藤 利勝	会津農林事務所農村整備部	農地計画課長
農村整備部農地計画課	主任主査	菅野 健一	文書管財総室私学・法人課 (公立大学法人福島県立医科大学)	主任主査(事務局健康調査課主任主査)
農村整備部農地計画課	主査	大野 悟	県中農林事務所農村整備部	主査
農村整備部農地計画課	副主査	吉村 綾沙	福島明成高等学校	副主査
農村整備部農地計画課	技師	茂木 さやか	新規採用	
農村整備部農地計画課	専門員	高橋 厚雄	県北農林事務所総務部	専門技術管理員
森林林業部林業課	課長	伊藤 正一	環境共生総室自然保護課	主任主査
森林林業部林業課	専門員	新津 修	県北農林事務所森林林業部	林業課長
森林林業部森林土木課	主任主査	渡部 一芳	南会津農林事務所森林林業部	主任主査
森林林業部森林土木課	主査(キャップ)	木村 充	森林林業総室林業振興課	主査
森林林業部森林土木課	主査	伊藤 透	会津農林事務所森林林業部	主査
森林林業部森林土木課	技師	桑川 隼人	新規採用	
森林林業部森林土木課	専門員	相楽 栄一郎	相双農林事務所森林林業部	主任主査
伊達農業普及所	主査	古川 茂樹	県北農林事務所安達農業普及所	主査
伊達農業普及所	主査	渡部 誠司	相双農林事務所農業振興普及部	主査
伊達農業普及所	主査	星 博綱	農業総合センター果樹研究所	主任研究員
伊達農業普及所	技師	森 智絵	新規採用	
伊達農業普及所	専門員	目黒 友	農業総合センター農業短期大学校	副校長
安達農業普及所	所長兼農業振興普及部主幹	阿部 正彦	会津農林事務所農業振興普及部	主幹兼副部長
安達農業普及所	次長兼地域農業推進課長	鶴浦 成子	農業総合センター会津地域研究所	専門研究員(キャップ)
安達農業普及所	主査	早田 正子	県北農林事務所農業振興普及部	主査
安達農業普及所	主査	松野 香子	農業総合センター	主任研究員
安達農業普及所	副主査	片倉 真沙美	農業総合センター畜産研究所	副主任研究員
安達農業普及所	技師	鈴木 雄太	新規採用	

### 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-535-0382 FAX 024-536-9590

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール [kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp)

